

# ドライバーは時間に余裕を持ち、安全運転を心掛けましょう

～通学路のスピード調査を実施しました～

町職員による「スピード調査隊」が定期的に町内主要道路で自動車などのスピード調査を行っています。制限速度に対して、平均でどのくらいの速度で走っているかを知って、ドライバーの方に交通安全に対する意識を高めてもらうのが目的です。

今回は、東部小学校の通学路で、約540人と非常に多くの児童が登下校する地点で9月17日に実施しました。ドライバーの皆さんは、児童の安全を守るため、スピードを抑えた運転を心掛け事故防止に努めましょう。

## 町道1019号線・1186号線 さるこ公園南のT字交差点付近

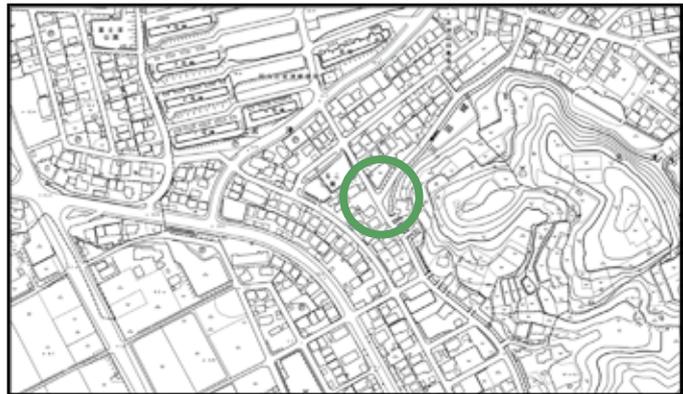
平均速度	北行き 29.9km/h	南行き 27.4km/h
調査時最高速度	北行き 42.0km/h	南行き 41.0km/h

### 調査時の特徴

下校する児童が通過する時間に合わせて調査を行いました。南から北に向かう車が多くありましたが、道幅が狭いため、スピードを出して走行する車はあまり見られませんでした。調査時は、交通指導員が児童の横断を手助けしていましたが、交通量が多いため、ドライバー、横断者ともに注意を要する箇所であることを十分に認識する必要があります。



▲さるこ公園南のT字交差点付近の様子



▲スピード調査地点

※ この調査は、半田警察署の道路使用許可を得て実施しています。

■問い合わせ先 防災交通課交通係 ☎(48)1111(内1210)



## 秋の火災予防運動 11月9日(土)～11月15日(金)

令和6年度 全国統一防火標語『守りたい 未来があるから 火の用心』

### 住宅防火

#### いのちを守る10のポイント

1. 寝たばこはしない、させない。
2. ストープの周りに燃えやすい物を置かない。
3. こんろを使うときは火のそばを離れない。
4. コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。
5. ストープやこんろは安全装置の付いた機器を使用する。
6. 住宅用火災警報器を定期的に点検、交換する。
7. 部屋を整理整頓し寝具やカーテンは、防災品を使用する。
8. 消火器などを設置し、使い方を確認する。
9. 避難経路と避難方法を確認し、備えておく。
10. 地域ぐるみの防火対策を行う。

### 放火を防止するために

- ・家の周りに燃えやすい物を置かない。
- ・外灯をつけて明るくする。
- ・物置や車庫には鍵をかけ、車などのカバーは防災製品を使用する。
- ・共同住宅の廊下や階段には物を置かない。
- ・ごみは決められた日に出す。

### 住宅用火災警報器は定期的に作動確認をしましょう。



『機器本体の寿命に注意』

住宅用火災警報器は10年を目安に交換しましょう。

■問い合わせ先 知多中部広域事務組合消防本部予防課 ☎(21)1491

知多中部広域事務組合  
消防本部ホームページ

